

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			
	2	職員の配置数は適切であるか	100			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100			
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			評価表の結果から、業務改善へつなげるように努めている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	78	22		今後、さらに充実させたい。 R2年7月開所のため、自己評価結果公表は、今年度より行う。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	第三者評価は実施していない。
適切な 支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			定期的な事業所内での勉強会、研修派遣、リモートでの研修参加などに参画している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			保護者、子どもからの聞き取りや、行動の観察からアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	78	22		数値化できるように改善したい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			担当の職員だけでなく、他の職員と相談、意見交換しながら立案している。 定期的にミーティングを行い、現在行っている支援の報告や意見交換をしている。
	12	活動プログラムが固定しないように工夫しているか	100			複数のスタッフが交代でプログラムを考案することで、多様な活動ができるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			平日にできないグループ活動や季節のイベントを、祝日や長期休暇に行っている。 コミュニケーション、人との関わり方などを学ぶ場になるように工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			子どもさんに応じて、個別指導や学校などでの話を聞く時間、体全体や指先を動かす時間等を設けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	89	11		それぞれ主として担当している子どももいるが、当日担当の子どもに関しては、主担当と相談の上、支援内容を決めている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか				子どもさんの様子や変化などを職員が集まり、ミーティングを行っている。支援方法などを職員全員で考え、共有している。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100			
	19	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100			
関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100			利用開始時には、学校と送迎に関する申し合わせを行っている。 下校時刻などの連絡、調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	56	44		対象者がいない。 今後の受け入れを考え、取り組みたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	78	22		対象となる利用者さんが出てきた場合は行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	56	33	ひとり親家庭の児との交流を行っている。
	27	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	56	33	11	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			連絡帳、アプリで、事業所と家庭双方の情報を伝え合い、共通理解に努めている。 特に気になることがあった場合は、電話やライン、または直接お会いして話をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	56	22	22	地域の拠点施設でのプログラムを保護者へ紹介する。
保護者への説明	30	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時、重要事項説明書に沿って説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			連絡帳を通して、または送迎の時に、家庭や学校での様子を尋ね、必要に応じて悩み事などを伺うようにしている。

	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	56	11	33	今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの相苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89	11		
	34	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			ブログやランディングページなど、定期的に更新し、情報発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100			ホームページ上で使用する写真に顔を出してよいかどうか予め保護者に確認している。個人のファイルが入った棚は必ず施錠するようにしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			必要に応じて、視覚的なツールを準備している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44	12	44	どのような形での事業運営ができるか検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	89		11	マニュアルは策定している。職員に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	100			定期的に避難訓練を実施している。11月に地震、2月に火災避難訓練を実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			全職員、虐待防止の研修を受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100			個別支援計画にて、保護者に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	78	22		該当の児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			

令和3年3月実施